

この取扱説明書を良く読んでからお使いください  
 富士重工業自動車の発行する整備要領書と併せてお使いください  
 取り付け後も大切に保管してください  
 販売店様で取り付けをされる場合は本書を必ずお客様へお渡しください



## 4スロットシステム EJ20

品 番 193046

適 合 SUBARU EJ20/EJ25 48

TOMEI製品のお買いあげありがとうございます。  
 各シリンダーの燃焼室近くにスロットルを配置し、ストレートポートによる抜群のレスポンスを実現したのが、この4スロットシステムです。

### 注意

本品は自動車競技専用品です。サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用してください。

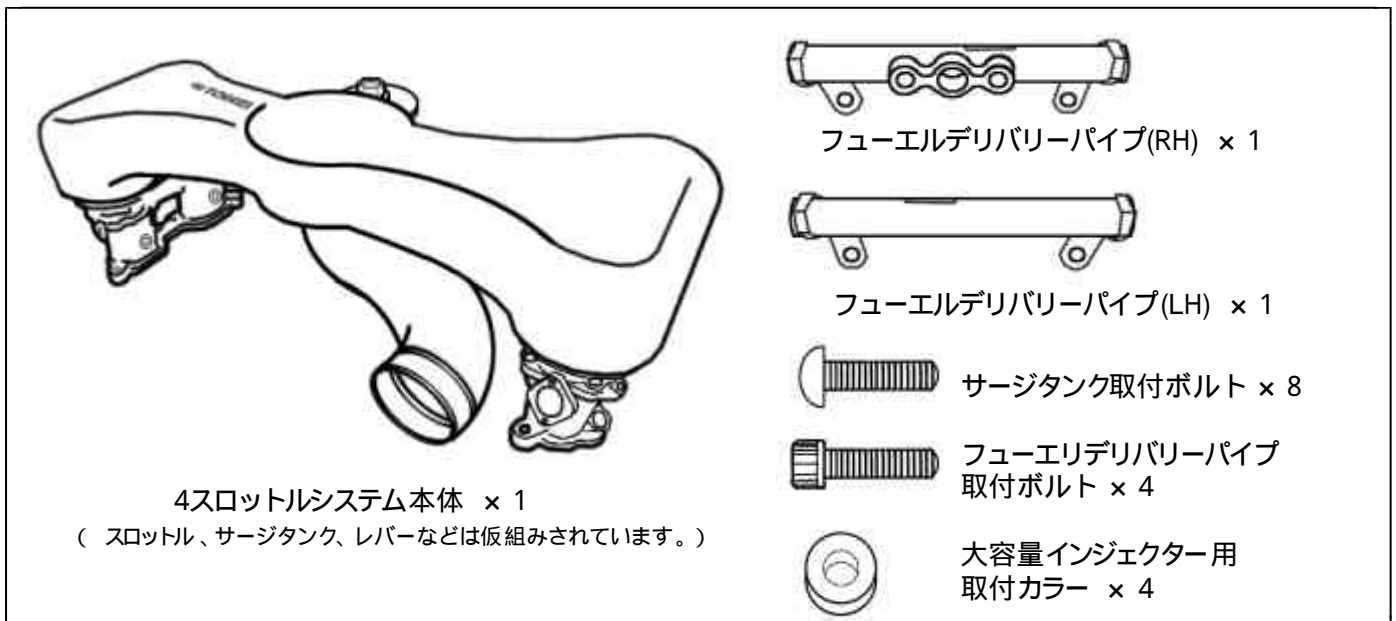
本品は自動車競技という特殊用途に用いるため、取り付けは特別の訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施してください。

本品は指定したエンジン、車種以外には取り付けできません。指定したエンジン以外に取り付けると各部が適合せず、本品およびエンジン本体を破損します。

取り付けの際は適切な工具と保護具を使用しないと けがにつながり危険です。


### 部品構成

下記のものが同梱されています。ご使用いただく前に必ずご確認ください。



## 準備

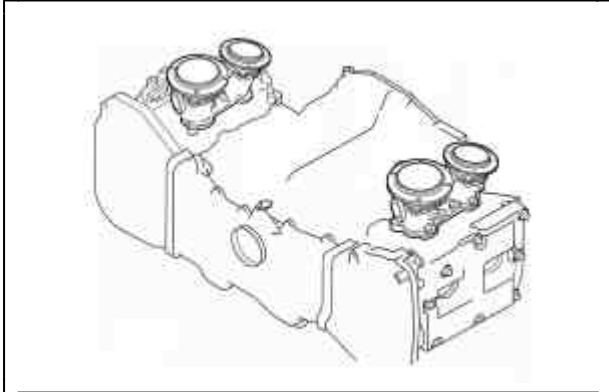
- ・本品取り付け後は、タービンやインタークーラーなどを純正位置に取り付ける事ができません。事前に装着位置を検討し、移動する事による配管の製作や用意を行う必要があります。
- ・本品取り付け時にエンジンハーネス、燃料配管の変更が必要になります。
- ・本品取り付け後は、純正エアコンおよび純正ECUは使用できません。それらを考慮した制御装置をあらかじめ用意し、調整を行う必要があります。
- ・本品のみではブレーキマスターバックに必要な負圧の確保は行えません。別途、ブレーキ用バキュームタンク(別売 TOMEI バキュームタンク (品番:193055) )をお求め頂くなどの負圧の確保が必要です。

 負圧の確保を行わないと、ブレーキが効かなくなり大変危険です。

## 1. 4スロットルシステムの取り付け

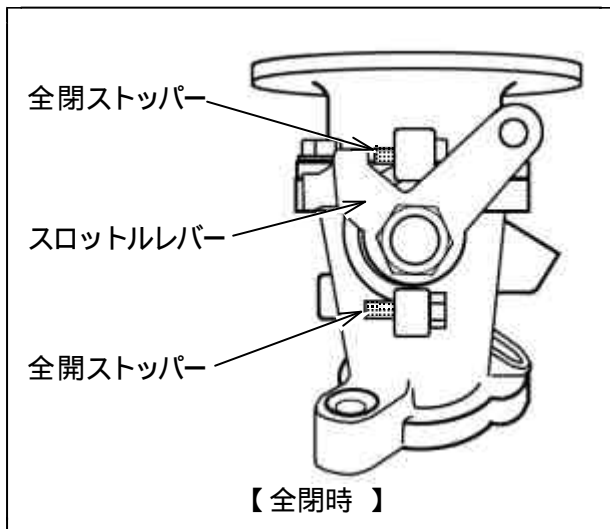
⚠ エンジンおよび周辺装置の脱着方法や、装着に関する各部締め付けトルク管理は整備要領書に準じて行ってください。

- (1) エンジンを車両から取り外す。
- (2) 4スロットルシステム本体からスロットルボディを取り外す。
- (3) スロットルボディをシリンダーヘッドに取り付ける。



⚠ スロットルを全開にしたときにシリンダーヘッドポートとの段付がないか確認してください。  
多少の段付がある場合は、リューターや棒ヤスリで修正を行ってください。

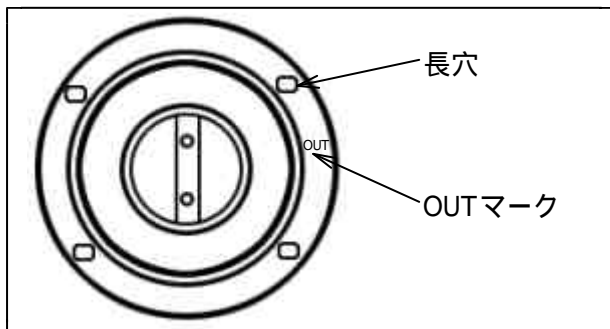
- (4) スロットルバタフライの調整を行う



⚠ スロットル全開、全閉ストッパー (イモネジ+ナット)は、出荷状態では仮止めになっています。  
脱落などないように注意してください。

- 1 : バタフライを全閉状態にしてスロットルレバーとスロットル全閉ストッパーが接触するまで調整する。
- 2 : バタフライを全開状態にしてスロットルレバーとスロットル全開ストッパーが接触するまで調整する。

- (5) サージタンクをスロットルボディに取り付ける。



⚠ ファンネルの「OUT」マークがエンジン外側に向いていることを確認してください。

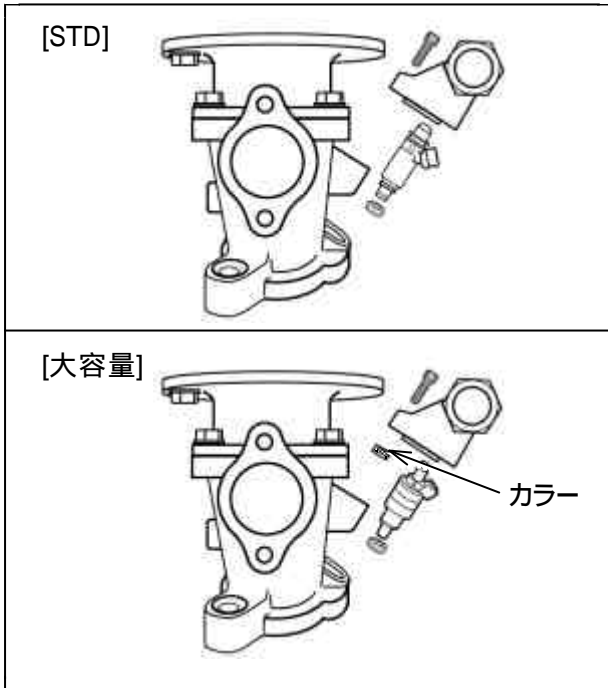
⚠ Oリングが溝に入ってるか確認してください。

⚠ ファンネル側取り付け部が長穴になっているので、ヘッドピッチに合わせて調整してください。

(6) スロットルレバーとスロットルロッドを締結し、ロット調整を行う。

- ⚠ スロットル全閉、全開時にそれぞれのストッパーとスロットルレバーが左右バンク共に接触していることを確認すること。

(7) フューエルデリバリーパイプおよびインジェクターを取り付ける。



[GDB純正インジェクターを取り付ける場合]

スロットルボディにそのまま取り付けできます。

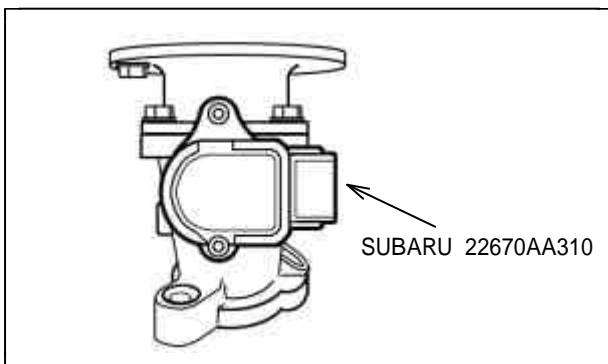
- ⚠ Oリングは必ず新品に交換してください。(再使用不可) また、必ず素手で取り扱い、異物の付着やねじれ等がないよう十分注意してください。
- ⚠ 落下、損傷などがないよう、インジェクターの取り扱いには十分注意してください。

[大容量インジェクターを使用する場合]

付属のカラーを使用して取り付けてください。

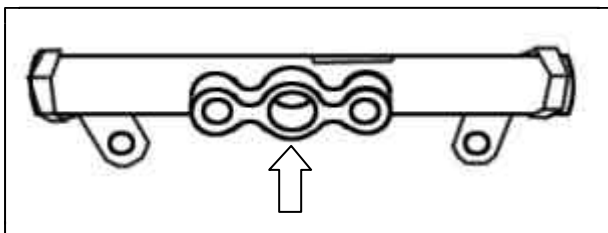
- ⚠ AVCS付のエンジンについては、インジェクター付近の干渉に注意し、必要があれば加工などの調整をしてください。
- ⚠ Oリングは必ず新品に交換してください。(再使用不可) また、必ず素手で取り扱い、異物の付着やねじれ等がないよう十分注意してください。
- ⚠ 落下、損傷などがないよう、インジェクターの取り扱いには十分注意してください。

(8) スロットルセンサーを取り付ける。



- ⚠ スロットルボディは、GDB純正スロットルセンサー(SUBARU純正品番 22633AA210)が取り付け可能な形状です。

(9) 燃料レギュレータを取り付ける。



フューエルデリバリーパイプ(RH)には、GDB(アプライドC~G)の純正燃料レギュレータ(SUBARU純正品番 22670AA310)が取り付け可能です。


- ⚠ Oリングは必ず新品に交換してください。(再使用不可) また、必ず素手で取り扱い、異物の付着やねじれ等がないよう十分注意してください。

(10) 燃料配管を行う。

- ⚠ 燃料配管後は、必ず燃圧をかけた状態で燃料の漏れがないか確認してください。

## 2.バキュームタンクを取り付ける場合

ブレーキマスターバック用のバキュームタンクなどを用意した際は、スロットルボディ部の1/8PTブラインド栓を外し負圧を取り出す。

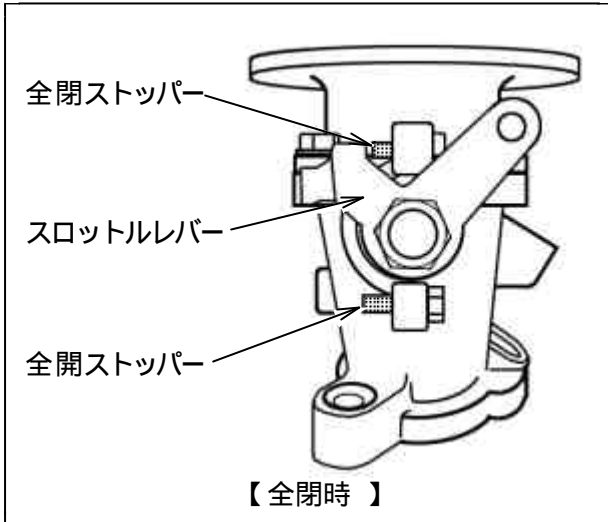
 サージタンク側の1/8PT、1/4PT取り出し口はウェストゲートなどに使用し、ブレーキマスターバックには決して使用しないでください。（スロットル全閉時において負圧が発生しません。）

【TOMEI バキュームタンク(品番193055)を使用する場合】  
スロットルボディ部の1/8PTブラインド栓を外し、バキュームタンク付属のメイルコネクターを取り付ける。

### 3.スロットル調整

⚠ 純正ECUでは制御、調整は行えません。別途制御装置が必要です。

⚠ エンジン運転は一酸化炭素中毒を引き起こす危険があります。屋内での作業は換気を確実に行ってください。



⚠ スロットル全開、全閉ストッパー (イモネジ+ナット)の脱落などがないよう注意してください。

- 1:スロットル全閉ストッパーを左右バンク同じ角度にひねり、スロットルを少し開く。
- 2:エンジン始動時にスロットル全閉ストッパーを左右バンク同じ角度にひねり、アイドル調整を行う。
- 3:アイドル調整後、もう一度ロット調整を行う。



---

**TOMEI POWERED INC.**  
**株式会社 東名パワード**

〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3

TEL 042-795-8411(代)

FAX 042-799-7851

<http://www.tomei-p.co.jp>

この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は上記へお願いします。営業時間：月～金（祝祭日、年末年始を除く）9:00～18:00

4スロットルシステムEJ20 取扱説明書 07年05月 M19K390